



公約が守れなかったことを市民に詫びるのが先ではないか。その上で今回のマニフェストでは、今度こそ建てるという明瞭に言わなければマニフェストとは言えない。23年度までに民意により方向付けなどという言い回しは、ごまかしであるし、矛盾していて市民に対して不誠実ではないか。

(青柳)



耐震化された現体育館

◆比例は民意を反映する議席
問 参院選結果を受け民主党は衆院比例議席を80削減する方針を固めた。市長は比例議席の削減についてどう考えるか。
 (柴田)

答 現在の制度は国民の声を国政に反映させるために導入されたものである。比例代表制は、現行制度では唯一民意を正確に反映できる仕組みだ。国会の場で慎重かつ十分な議論を望む。

市民の安全安心対策を



◆市民要望の把握について

問 PTAや保育園保護者会の要望は区長要望とは別に対応すべきと考える。特に通学路の安全対策や道路整備に関する要望は担当課まで届かないケースが多いがどうか。
 (山口)

答 行政側と市民側との認識の違いは感じているのでよい対応策について研究していく必要がある。



防犯灯設置が求められるげんば大橋西側

◆事業達成にスピード感を

問 多様化する市民要望やニーズに対し、その事業を達成するのに要する時間は10年後には変わっているのか。永遠



地区防災訓練の様子

の課題とも言える計画行政と市民ニーズのミスマッチをなくすためには、どうしたらよいか。
 (小野)

答 的確な市民ニーズの把握や協働のまちづくりの推進に努め、将来に目を向けた計画的な行財政運営とともに、市民要望の早期実現や事業のスピーディーな実施を再認識して挑んでいきたい。

◆組・常会に金テコの常備を
問 家屋の倒壊から人を救い出すのに必需品とされる金テコについてはどの程度、市内に普及が進んだのか。最低でも組・常会単位に1本は必要と思うが、どうか。
 (小野)

答 救助工具が身近にあるのは非常に重要だが、金テコの常備は自治会組織で用立てるよう区長会等に依頼したい。



市内のデイサービスセンター

福祉サービスの充実を



◆10年後の公共投資のあり方
問 市道陥没事故やみどり湖社会福祉センター重油漏れ事故などのように、今後は突発的に発生して過大な経費がかかる想定外の事態や、公共施設で増大する維持管理経費を覚悟する必要がある。10年後の公共投資のあり方をどのように考えるのか。
 (小野)

答 公共施設の管理運営だけでなく、市民サービスを第一にとらえて長期的な視点による施策の展開や対応を考えて取り組んでいきたい。

◆介護保険の改善について
問 介護保険で保険料の軽減、